

## 第9回 高麗郡建郡歴史シンポジウム

# 高句麗滅亡後の国家 東アジアの古代王国 「渤海」と

## 日本との交流を探る!



高句麗の遺民たちによって建てられた国とされる「渤海」。奈良・平安期、日本と渤海は頻繁に行き来し、遣渤海使の記録に、高麗氏や高句麗系の名前が見られる。渤海とはどんな国？なぜ日本と頻繁に行き来したのか？交流から高麗郡建郡後の様子をひも解く。



渤海時代の石灯籠（興隆寺）



宮城午門 渤海上京城

期 日

2022年12月10日 土  
13:00～16:45

会 場

日高市総合福祉センター  
「高麗の郷」1F 研修室



かつて福良津（ふくらのつ）と呼ばれ、渤海と交易した能登半島の福浦港

- 12:30 受付  
13:00 開会あいさつ（総司会 中野高行：日本高麗浪漫学会副会長）  
13:15 講演Ⅰ  
「遣渤海使が訪ねた渤海の王都」  
講師 小嶋芳孝：金沢学院大学名誉教授  
14:15 休憩  
14:30 講演Ⅱ  
「渤海使として来日した渤海国の高氏」  
講師 古畑 徹：金沢大学教授  
15:30 休憩  
15:45 パネルディスカッション  
「高句麗滅亡後の国家、東アジアの古代王国“渤海”と日本との交流を探る！」  
小嶋芳孝／古畑 徹  
コーディネーター 中野高行  
16:40 まとめ／閉会あいさつ

定員 100名（申込み先着順）

参加費 一般：1000円 / 高麗1300会員：500円

申込み 11月7日(月)10:00より高麗1300事務局へ次の①～④のいずれかで。先着順に受け付けます（お名前・連絡先・住所等）

①ホームページ <http://komagun.jp> トピックス記事「申込みフォーム」から  
②E-mail [info@komagun.jp](mailto:info@komagun.jp) ③電話 042-978-7432（不在の場合あり） ④FAX 042-978-7452

## 感染予防にご理解ご協力を

- ・当日で体調のすぐれない方はご参加になれません。
- ・マスク着用でお越しください。検温、手指消毒等に協力ください。
- ・会場では換気、対人距離などを保つように実施いたします。
- ・新型コロナウイルスの関係で、内容等が急遽変更または中止になる場合もございます。

主催：高麗1300 / 日本高麗浪漫学会 後援：日高市教育委員会  
企画：日本高麗浪漫学会企画運営委員会

## 遣渤海使が訪ねた渤海の王都



小嶋芳孝

こしま よしたか

金沢学院大学名誉教授

渤海(698～926年)は727年から922年の間に34回、使節を日本へ派遣している。日本からは、第一次渤海使の送使として728年に引田虫麻呂を大使とする遣渤海使が派遣され、811年までの間に14回の遣渤海使が派遣されている。第一次遣渤海使は都から加賀を経て、能登の福良津から出航したと推定している。遣渤海使が派遣された83年間に渤海の王都は、旧国・顕州王都・上京・東京・上京と遷都している。

今回の講演では、金沢市周辺で発掘された渤海使の迎賓遺跡、渤海への出航地だった能登・福良津と共に、遣渤海使が訪ねた渤海王都の研究状況などについて紹介し、あわせて811年以後に遣渤海使が停止された理由について考えたい。

**Profile** 1949年、石川県金沢生まれ。1972年同志社大学文学部卒業。石川県教育委員会事務局文化室、県立郷土資料館学芸員、石川県教育委員会文化財保護課、県立埋蔵文化財センター、財団法人石川県埋蔵文化財センター調査部長を経て、2005年金沢学院大学教授、2015年同大学特任教授、2020年同大学退職、名誉教授。現在は金沢大学古代文明・文化資源学研究所客員教授、石川考古学研究会会長。専門考古学。主要著作『中国とロシア沿海地方における渤海の考古学的研究』金沢学院大学、「渤海の仏教遺跡』『日本と渤海の古代史』山川出版社、「図們江流域の渤海都城と瓦当』『東アジアの都城と渤海』(財)東洋文庫ほか。

## 渤海使として来日した渤海国の高氏



古畑 徹

ふるはた とおる

金沢大学教授

日本から渤海に派遣された遣渤海使の記録を見ると、高麗氏をはじめとする高句麗系の人名がしばしばみられる。一方、渤海から日本へ派遣された渤海使の記録においても、高句麗人の後裔とみられる高氏が非常に多く登場する。では、この高氏は、渤海国においてどのような存在だったのであろうか。南宋の洪皓が著した『松漠紀聞』(1156年刊)によれば、高氏は渤海の右姓(名門)6姓の筆頭に挙げられており、渤海国人もしくはその子孫を称したことが史料からわかる者のうち、高姓の者は王族大氏に次いで多い。しかし、彼らをすべて名門氏族と理解してよいのであろうか。渤海使における高氏関連史料を整理しつつ、可能な限り高氏の実像を追ってみる。

**Profile** 1958年、東京都板橋区生まれ。1981年東北大学文学部史学科卒業。1987年東北大学大学院博士課程後期単位取得退学、東北大学助手就任。1990年金沢大学教養部助教授、1996年同文学部助教授、のち同教授。現在、金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系教授(2006年より)・同人間社会学域国際学類長(2020年より)。主な著書に、『渤海国と東アジア』(汲古書院、2021)、『渤海国とは何か』(吉川弘文館、2018)。編著に、『高句麗・渤海史の射程』(汲古書院、2022)、『国際学への扉：異文化との共生に向けて[三訂版]』(共編著、風行社、2020)。

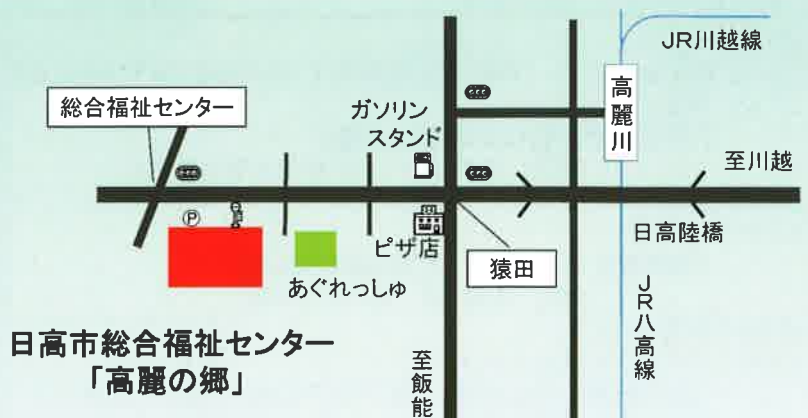
### 【会場】

#### 日高市総合福祉センター「高麗の郷」

埼玉県日高市榎木(にれぎ)201

☎042-985-9988

- ・JR八高線 川越線 高麗川駅より徒歩約15分
- ・高麗川駅から国際興業バス「飯能駅行」に乗車、「総合福祉センター前」下車
- ・お車の場合、無料駐車場あり  
※臨時駐車場をご利用いただく場合があります



### 【お問い合わせ】 高麗1300 (日本高麗浪漫学会) 事務局

☎042-978-7432

〒350-1243 埼玉県日高市新堀 855-3

E-mail info@komagun.jp

ホームページ <http://komagun.jp>